

2024年度
第20回

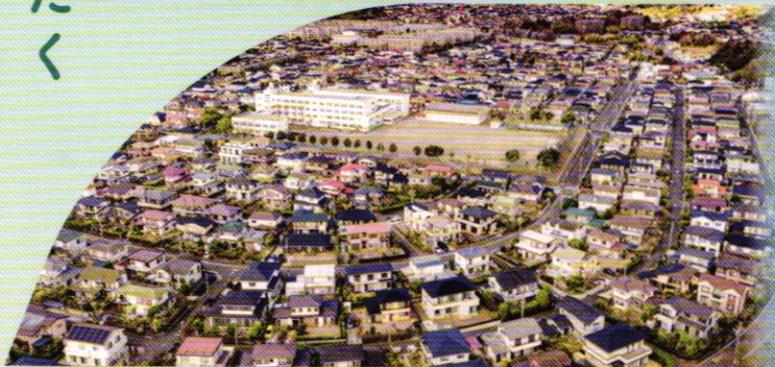
住まいのまちなみ コンクール

想いがつながり
まちは羽ばたく



昔のまちなみと
生活の記憶を取り戻す
復興に向けた息の長い地域活動

2023年度 国土交通大臣賞(特定非営利活動法人 りあすの森)(宮城県石巻市)



まちの「生みの親」と「育ての親」が
協働してまちを再び耕す

2023年度 住まいのまちなみ優秀賞(上郷ネオポリス自治会)(神奈川県横浜市栄区)



受賞団体に
年30万円
×3年

※受賞団体には、30万円(団体1年あたり)を
3年間、維持管理活動の推進の
ために支援します



ものづくりの郷として住民が
各得意分野で連携し移住支援

2023年度 住まいのまちなみ賞(一般社団法人 西郷工芸の郷あまんじゃく)(鳥取県鳥取市)



焼杉板のまちなみをここに
移住者と地元住民が共にまちおこし

photo by bozzo

2023年度 住まいのまちなみ賞(特定非営利活動法人 たけのかそく)(兵庫県豊岡市)

【表彰】国土交通大臣賞1点、住まいのまちなみ賞数点を選定予定。

【募集対象】良好な景観が形成されている、もしくは形成の過程にある一体的な住宅地において、住まいのまちなみの維持管理活動を行っている団体を対象とします。各種の社会的課題に対応した先進的なまちづくりの活動を行っている場合には、当該活動も評価します。なお、戸建て住宅に限らず、集合住宅等の住宅地で活動している団体も対象となります。(団体の例としては、町内会、自治会、管理組合、建築協定等に基づく運営委員会、地域NPO法人などが挙げられます。)

【審査委員会】審査委員長 大月敬雄(東京大学教授)
五十音順 敬称略
審査委員 岡田昭人(まちづくりプランナー)、
齊木崇人(神戸芸術工科大学名誉教授)、
坂井文(東京都市大学教授)、森まゆみ(作家・編集者)、
国土交通省大臣官房技術審議官(都市局担当)(予定)
国土交通省大臣官房審議官(住宅局担当)(予定)

主催 一般財団法人住宅生産振興財団、
一般社団法人すまいづくりまちづくりセンター連合会

後援 国土交通省、独立行政法人住宅金融支援機構、
(予定) 独立行政法人都市再生機構、
一般社団法人住宅生産団体連合会、
公益社団法人日本建築士会連合会、
一般社団法人日本建築士事務所協会連合会、
一般財団法人ハウジングアンドコミュニティ財団

協賛 旭化成ホームズ、スウェーデンハウス、住友林業、
積水化学工業、積水ハウス、大和ハウス工業、トヨタホーム、
パナソニックホームズ、ミサワホーム、三井ホーム
(株式会社を省略、五十音順)

募集対象・応募図書・受賞事例など、
詳しくはホームページをご覧ください



<https://www.machinami.or.jp/>

エントリー期間

募集

あなたの
まちなみを
育む活動

2024.5.1 [水] → 7.31 [水]

応募図書提出締切 8.31 [土]

2024年度
第20回

住まいのまちなみコンクール

エントリー期間

あなたのまちなみを育む活動を募集します 2024.5.1[水]→7.31[水]

応募図書提出締切 8.31[土]

同コンクールで
全国94団体(過去19回開催)が
受賞しています我が国におきましては 人口の減少等を背景に 様々な社会的課題に対応した多世代が
住み継ぐことができる価値あるまちなみの形成が求められていますこのようなまちなみの形成には 地域の方々による 継続的な維持管理 運営
コミュニティの形成等の多様な取り組みが必要となります住まいのまちなみコンクールは このような活動に取り組む住民組織の皆さまをまちづくりの
モデルとして表彰し支援するとともに これらの取り組みを各地でまちなみ形成に取り組む方々に
広く情報提供し 活動の一助としていただくことを目的としています

募集対象

1. 良好な景観が形成されている、もしくは形成の過程にある一体的な住宅地において、住まいのまちなみの維持管理活動を行っている団体を対象とします。各種の社会的課題に対応した先進的なまちなみづくりの活動を行っている場合には、当該活動も評価します。
ただし、伝統的建造物群保存地区内の住宅地は、除きます。なお、維持管理対象の住宅地の住宅は、戸建て住宅に限らず、集合住宅等も可です。
2. 対象となる団体は、次の両方に該当するものとします。
 - A. 地域の維持管理活動を行っている団体であること。
 - I. 地域の活動の根拠となる規約などが文書化されていること。

(団体の例としては、町内会、自治会、管理組合、建築協定等に基づく運営委員会、地域NPO法人などが挙げられます。なお、法人格の有無は問いません。)

選考方法

提出図書をもとに、審査委員会において選考します。
なお、必要に応じて追加資料等の提出要請、現地調査を行う場合があります。

選考の主なポイント

次に掲げる取り組み等を特に評価します。

- A. まちなみに関する取り組み内容等
 - ・維持管理している住宅地が、住まいの美しいまちなみ景観を有している
 - ・継続的な景観維持活動を通じ、景観を育て、より成熟させている
 - ・建築協定など、まちなみのルールを有している
 - ・まちづくりにおける社会的課題に取り組んでいる
(社会的課題への取り組みの例としては、活力の低下が見られる街の再生、脱炭素、防災、高齢化対応、子育て支援、空き家・空き地の利活用、住み替え支援、農ある暮らし等が挙げられます)

- I. 取り組みの体制
 - ・多人数によるまちなみの維持管理活動が行われている
 - ・多世代による取り組み、対象住宅地の外に住まわれている方との協働、複数の団体による協働等が行われている

- U. 取り組みに関する期間
 - ・一定期間継続してまちなみの維持管理活動が行われている

- I. 他地域に対するモデル性
 - ・取り組みの内容等が、他地域で同様の課題に取り組んでいる団体のモデルになりうると認められる

応募方法 (詳しくは当財団HPをご覧ください。)

1. 提出様式…エントリー・応募図書の様式は当財団のHPからダウンロードしてください。
2. 提出方法…郵送またはメールで提出してください。
3. 提出締切…エントリー期間:2024年5月1日(水)~2024年7月31日(水)
応募図書提出締切:2024年8月31日(土)
※個人情報について…応募者の個人情報は、運営に必要な範囲外の目的には使用いたしません。

維持管理活動の支援

1. 支援方法 受賞決定後、受賞者と内容を協議の上、維持管理活動の推進費用として30万円(1団体・1年あたり)を3年間支援いたします。
2. 支援内容 維持管理の向上に関する団体活動等に充当してください。
3. 報告書の提出 所定の様式で報告書を提出していただきます。報告していただいた内容は公開します。
4. まちネット これまでの受賞団体等をメンバーとして「すまいのまちなみネットワーク(まちネット)」として活動しています。お互いの活動の紹介等、情報交換や親睦を図っています。受賞団体には、本会への参加をお願いしています。
5. その他 活動状況の紹介等を行う場合にはご協力ください。

選考結果の発表

2025年1月に、応募者へ書面にて通知するほか当財団のHPにて公開します。

応募図書送付先[郵送またはメール]・問い合わせ先

応募に際してご不明な点等があれば、下記事務局までご連絡ください。

一般財団法人住宅生産振興財団内 住まいのまちなみコンクール事務局
担当 / 沢田・石川〒105-0001東京都港区虎ノ門3-11-15 SVAX TTビル5階
TEL 03-5733-6733 FAX 03-5733-6736
Email/contest@machinami.or.jp

住宅生産振興財団ホームページ

<https://www.machinami.or.jp>

まちなみコンクール

検索



2023年度 第19回「住まいのまちなみコンクール」受賞団体紹介

【国土交通大臣賞】

特定非営利活動法人 りあすの森
(宮城県石巻市)

2.9ha/戸建15戸(現時点)

北上川河口域にある東日本大震災からの復興途上の農村・漁村。公的資金を使わず建設した復興住宅を宿泊施設へ、築100年以上の板倉を移転しカフェとして再生。気仙大工による天然スレート屋根の伝統家屋の修繕など、昔のまちなみのパーツを大切に取戻す試みを続けている。

【住まいのまちなみ優秀賞】

上郷ネオポリス自治会
(神奈川県横浜市栄区)

46ha/戸建852戸

起伏を生かし一体感を持つ土地に50年ほど前に開発された戸建て住宅地。コンビニを併設したコミュニティ拠点「野七里テラス」との連携など、開発事業者の協力を得ながら、多様な地元団体が様々なまちの空き空間を利用して再生活動を行っている。

【住まいのまちなみ賞】

一般社団法人
西郷工芸の郷あまじやく

(鳥取県鳥取市)

4439ha(山林含む)/戸建425戸、集合4戸

水に恵まれた山裾の村。人間国宝の窯元を含む3つの窯元を核に、ものづくりの郷として移住者を増やす計画を策定。空き家を活用した移住支援は、住民がそれぞれの得意な分野で関与するなど、きめ細やかな取り組みを行っている。

【住まいのまちなみ賞】

特定非営利活動法人 たけのかぞく
(兵庫県豊岡市)

170ha(山林含む)

/戸建606世帯、集合約10世帯

北前船の寄港地として栄えたまちに、住宅の外壁に焼杉板を使ったユニークなまちなみが近現代に形作られてきた。移住してきた若い人たちが地元の人と一緒に、焼杉板という建築材料を梃子にして、まちおこしイベントや移住促進の活動を進めている。